

三菱食品株式会社 2022年3月期 決算説明資料

2022年5月9日



【お知らせ】

当社は2022年3月期の期首より「収益認識に関する会計基準」
(企業会計基準第29号)等を適用しております。
なお、当資料においては、2021年3月期を同基準に組替えて
表記しております。

目次

1

2022年3月期 決算概要

2

2023年3月期 業績予想

3

「中期経営計画2023」の取り組み状況

1. 2022年3月期 決算概要



2022年3月期 連結業績(前期比・業績予想比)

(単位:億円)

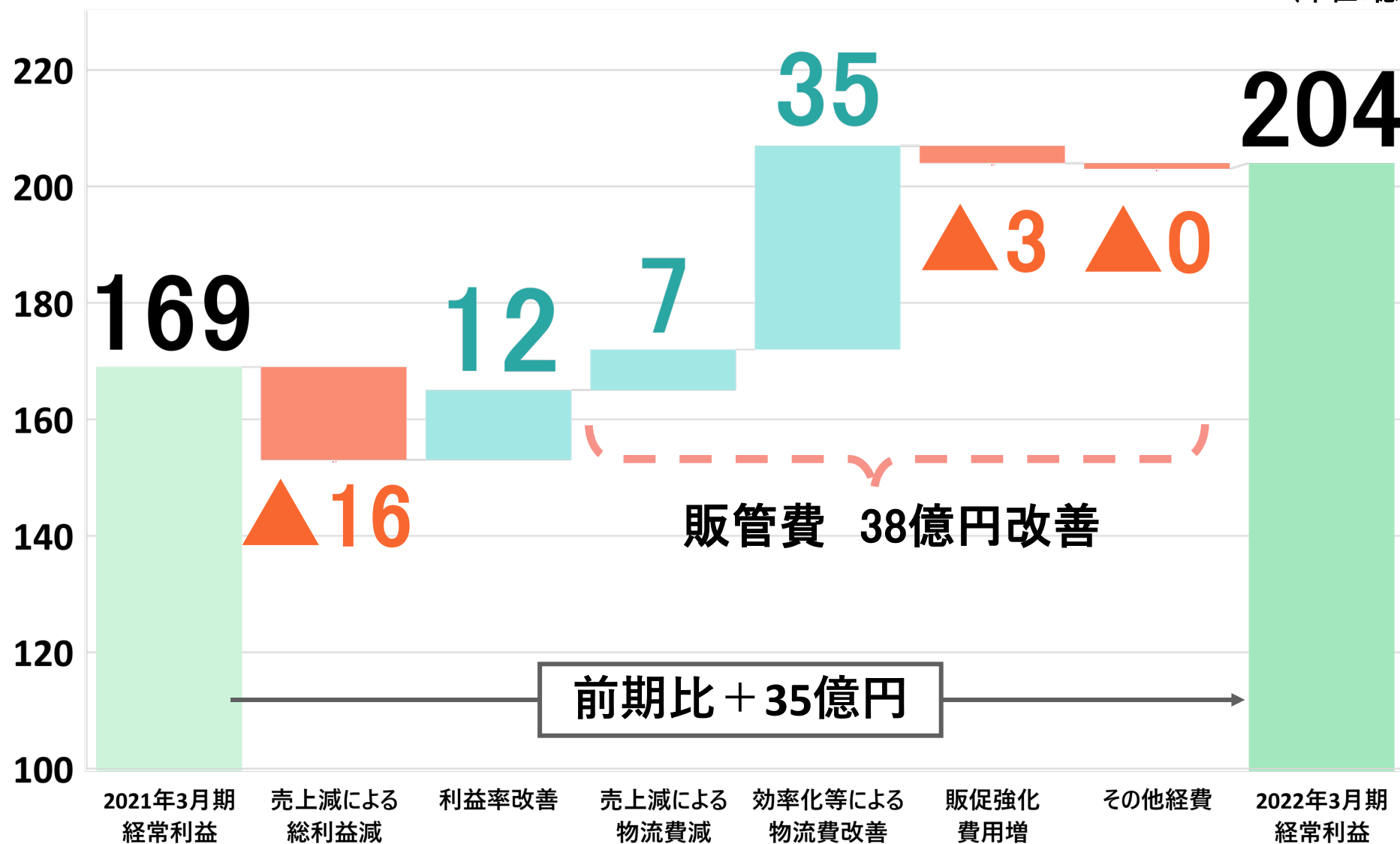
	2021年3月期	2022年3月期			
	実績 ※1	業績予想 ※2	実績	前期比	業績予想比
売上高	19,794	20,000	19,556	▲238	▲444
営業利益	156	187	190	34	3
経常利益	169	200	204	35	4
親会社株主に帰属する 当期純利益	111	135	139	29	4
1株当たり 当期純利益(円)	193.87	282.89	292.31	98.44	9.42
ROE (%)	5.8%		7.6%	1.8P	

※1 2022年3月期の期首より適用した「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)等において、前期組替額の見直しを行ったことから、2021年3月期の売上高を修正しております。

※2 2022年2月2日に業績予想の上方修正を公表しております。

2022年3月期 経常利益の増減要因(前期比)

(単位: 億円)



2022年3月期 セグメント別業績(前期比)

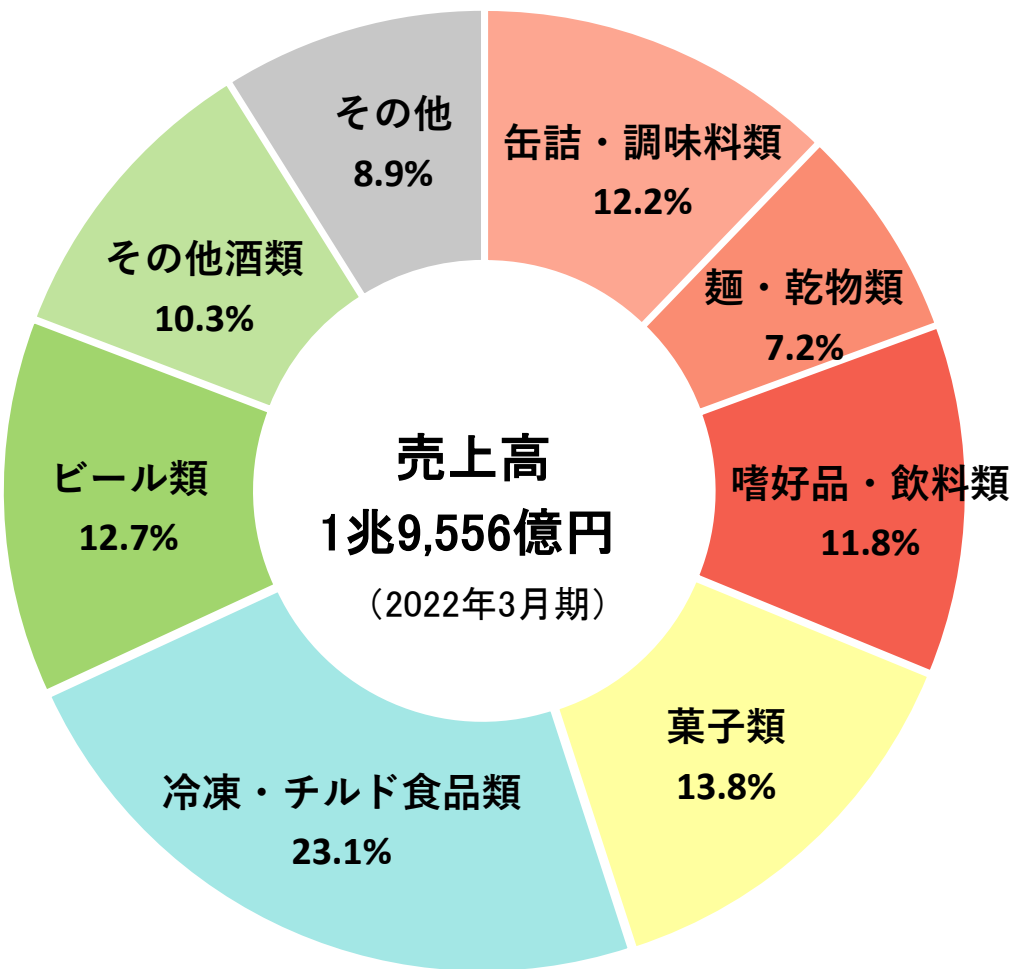
(単位:億円)

	売 上 高				営 業 利 益			
	2021年 3月期※	2022年 3月期	増減額	増減率 (%)	2021年 3月期	2022年 3月期	増減額	増減率 (%)
加工食品	6,841	6,701	▲140	▲2.0	37	47	10	27.5
低温食品	5,547	5,422	▲125	▲2.3	72	92	20	27.2
酒類	4,690	4,711	21	0.4	39	37	▲2	▲4.3
菓子	2,695	2,696	1	0.0	26	30	5	17.7
その他・調整	21	26	5	25.2	▲18	▲16	2	—
合 計	19,794	19,556	▲238	▲1.2	156	190	34	21.9

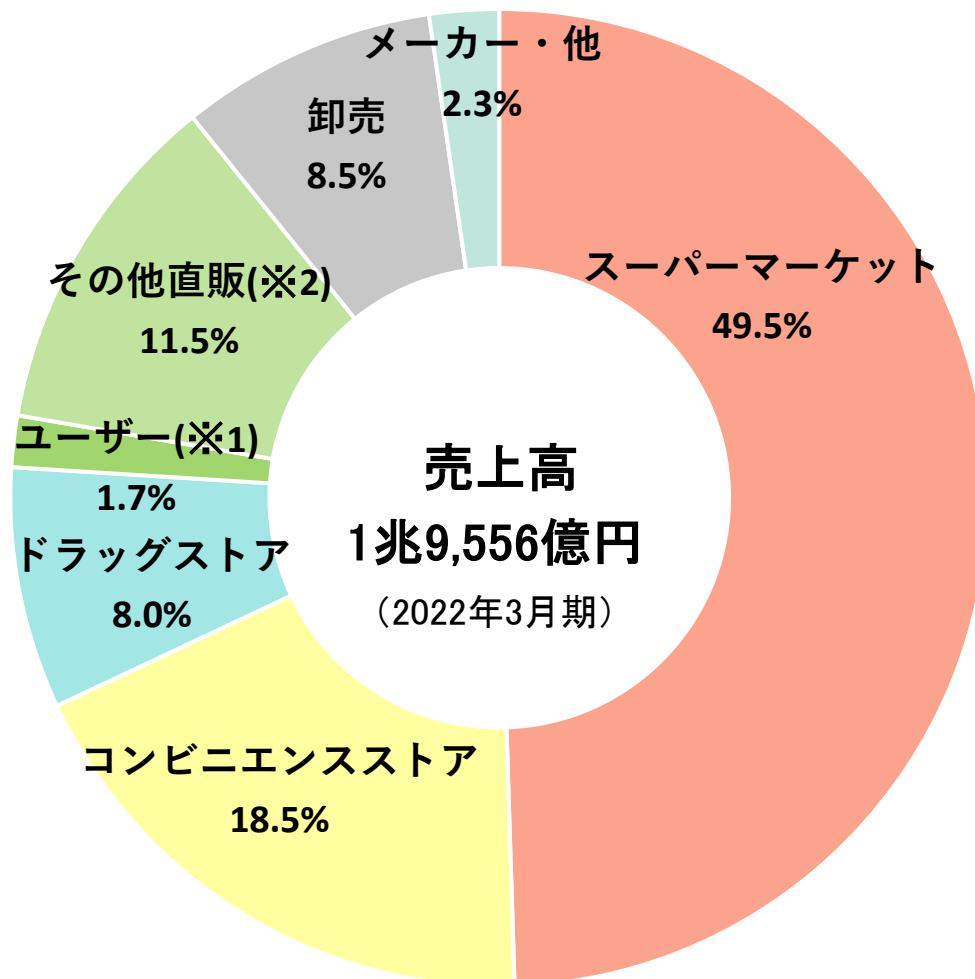
※ 2022年3月期の期首より適用した「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)等において、前期組替額の見直しを行ったことから、2021年3月期の売上高を修正しております。

2022年3月期 品種別・業態別売上高

品種別



業態別



※1: ユーザーは外食・中食・給食等消費者へ直接飲食サービスを提供する事業者

※2: その他直販はディスカунストア・EC事業者・ホームセンター・百貨店等

2022年3月期 貸借対照表(前期比)

自己株式の取得・消却による純資産の圧縮により資本効率が向上

(単位:億円)

2021年3月期

流動資産 5,324 売上債権 3,082 棚卸資産 672	流動負債 4,589 仕入債務 3,958
	固定負債 284
有形・無形固定資産 975 投資・その他の資産 544	純資産 1,970

総資産 6,843

2022年3月期

流動資産 5,148 売上債権 3,177 棚卸資産 696	流動負債 4,665 仕入債務 4,025
	固定負債 284
有形・無形固定資産 981 投資・その他の資産 523	純資産 1,703 (▲267)

総資産 6,652(▲191)

2. 2023年3月期 業績予想



2023年3月期 業績予想

(単位:億円)

	2022年3月期		2023年3月期		前期比	
	実績	売上比 (%)	業績予想	売上比 (%)	額	率(%)
売上高	19,556	－	19,900	－	344	1.8
営業利益	190	1.0	199	1.0	9	4.5
経常利益	204	1.0	215	1.1	11	5.5
親会社株主に帰属する 当期純利益	139	0.7	140	0.7	0	0.4
1株当たり当期純利益(円)	292.31	－	321.57	－	29.26	－
ROE(%)	7.6	－	8.0	－	0.4P	－

2023年3月期 セグメント別業績予想

(単位:億円)

	売上高				営業利益			
	2022年 3月期	2023年 3月期	増減額	増減率 (%)	2022年 3月期	2023年 3月期	増減額	増減率 (%)
加工食品	6,701	6,719	18	0.3	47	46	▲1	▲2.0
低温食品	5,422	5,628	206	3.8	92	98	6	6.6
酒類	4,711	4,800	89	1.9	37	37	▲0	▲1.2
菓子	2,696	2,727	31	1.1	30	31	1	3.2
その他・調整	26	26	0	0.2	▲16	▲13	3	—
合 計	19,556	19,900	344	1.8	190	199	9	4.5

成長戦略の進捗・見通し

(単位:億円)

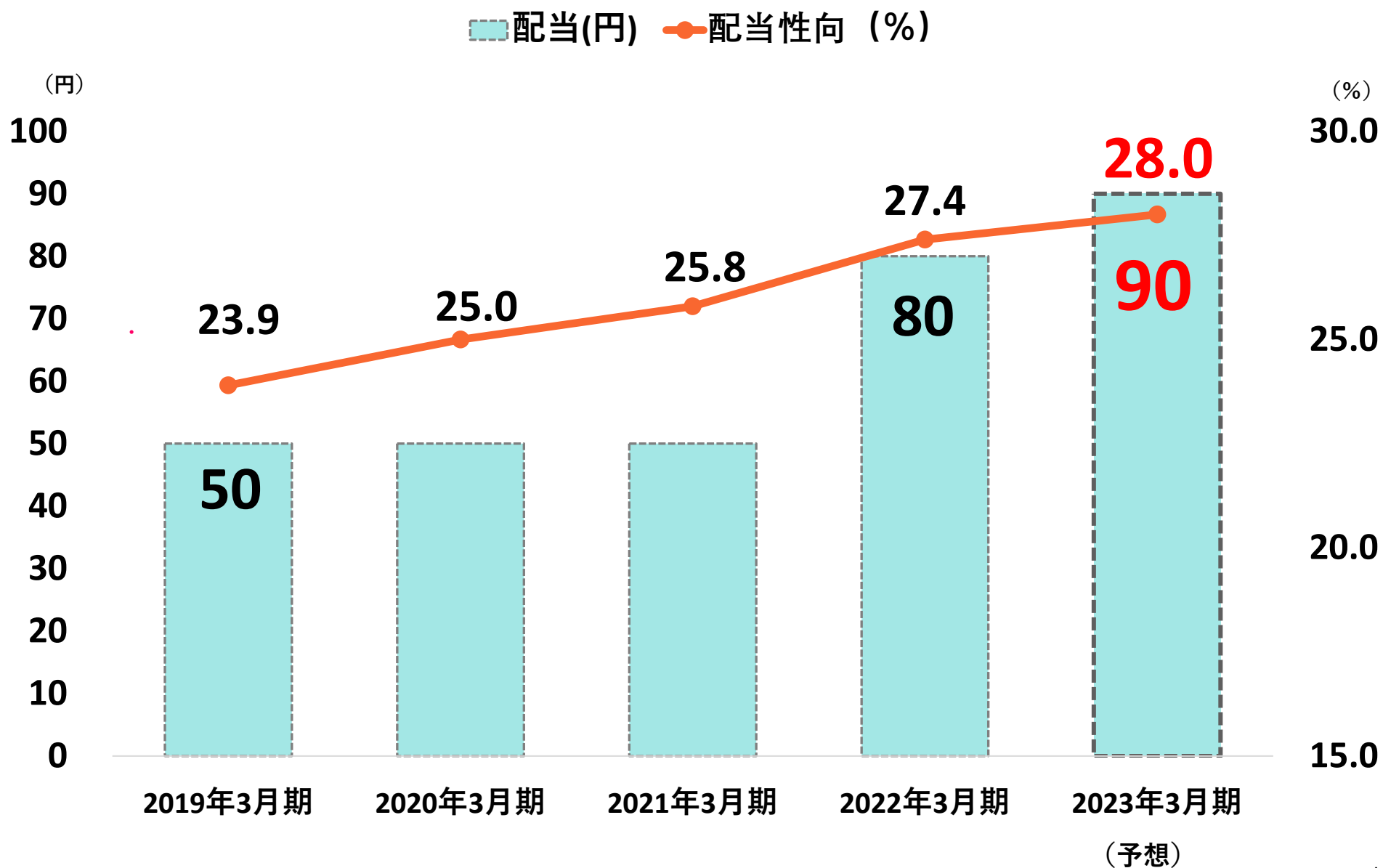
	経常利益		
	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期予想
メーカーサポート	26	29	23
商品開発	4	10	15
リテールサポート	160	184	193
小 計	190	223	231
その他・調整	▲21	▲19	▲16
合 計	169	204	215

投資等の状況

(単位:億円)

	投資額			償却額・支払リース料		
	2021年 3月期	2022年 3月期	2023年 3月期 予想	2021年 3月期	2022年 3月期	2023年 3月期 予想
設備投資 (リース含む)	66	84	50	66	67	70
システム開発等	44	36	40	38	48	50
事業投資	8	11	50			
合 計	118	131	140	104	115	120

配当予想

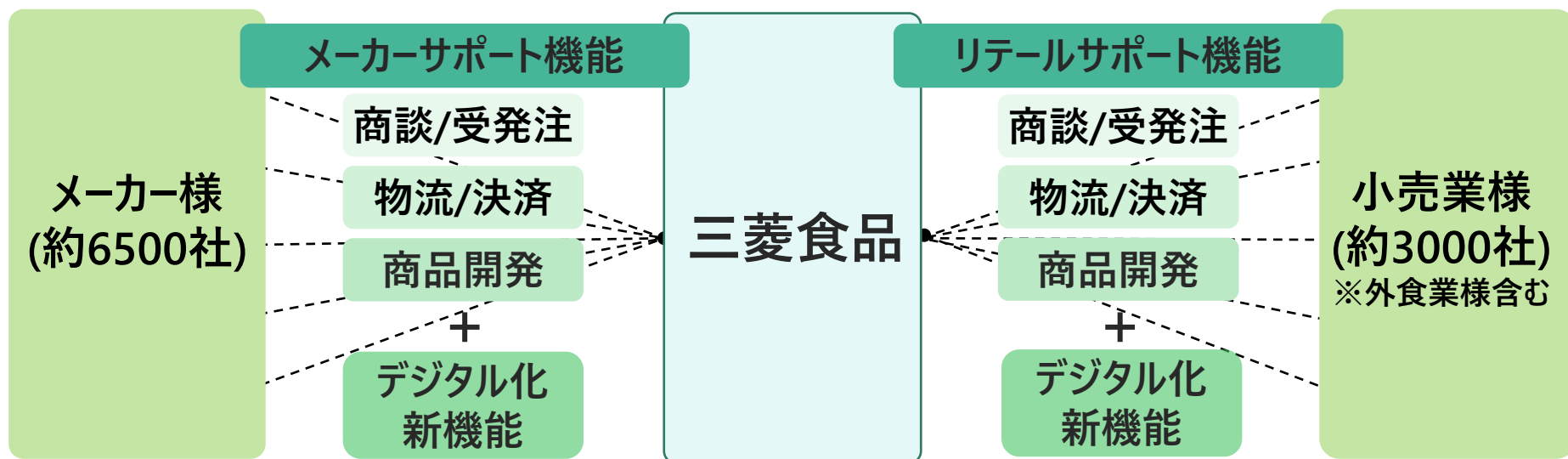


3. 「中期経営計画2023」の取り組み状況

「中経2023」全体像

当社は、食のサプライチェーンの最適化・効率化・安定化を支え、メーカー様・小売業様・生活者の皆さまに選ばれ続けることを通じ、持続可能な社会の実現に貢献します

年間12億件の出荷データを支える強固なシステム基盤（MILAI）



地域パートナーシップ構築・サステナビリティ重点課題

メーカー様への付加価値

- 生産計画・在庫最適化
- 販管費抑制(生産性向上)
- 効果的なマーケティング

社会的付加価値

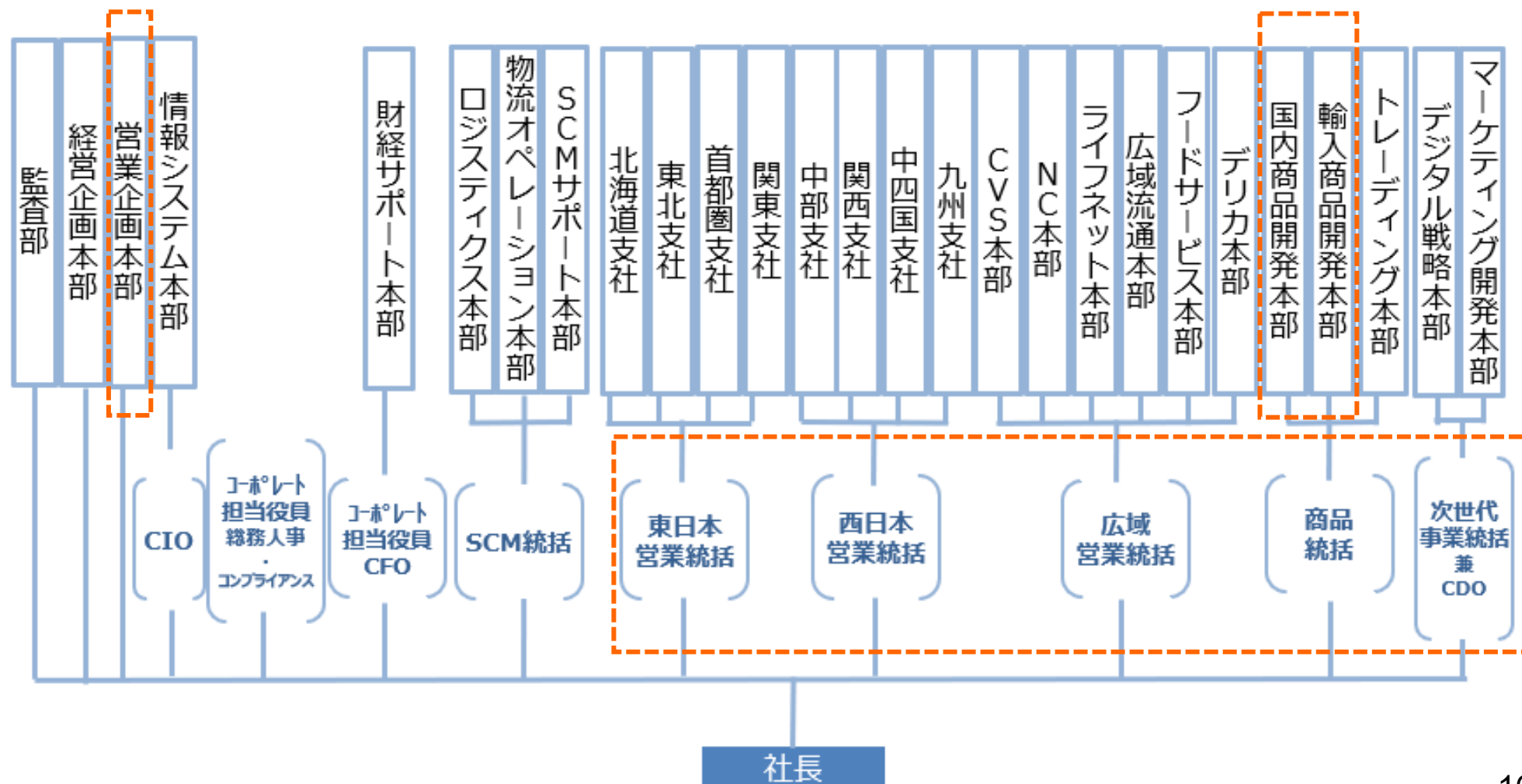
- 食のライフライン安定化
- ニーズに即した商品開発
- 地域・社会課題の解決

小売業様への付加価値

- 売上の維持拡大
- 販管費抑制(生産性向上)
- サプライチェーン安定化

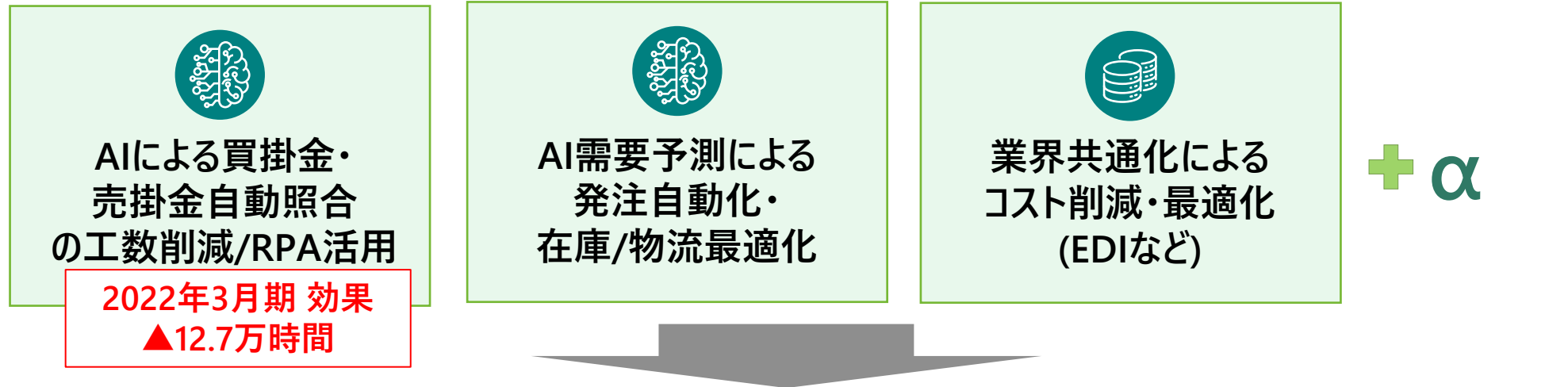
2023年3月期 組織改編

- 顧客起点の経営サイクルを実現すべく、事業本部制(カテゴリー別)からエリア統括制へ改編
- DXによる生産性向上・顧客価値創出の加速と新規分野に人財投入
- 商品統括下に国内・輸入商品開発本部を集約
- 営業企画本部内に「地域戦略オフィス」を組成、地域パートナーシップ構築を推進

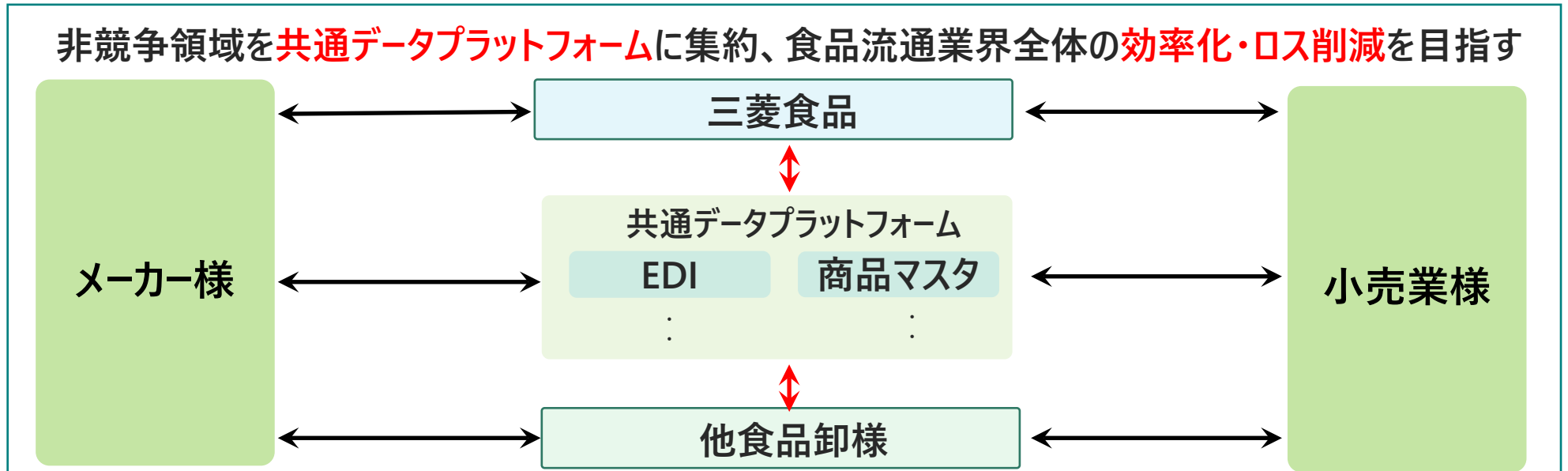


リテールサポート・メーカーサポート機能の強化 (効率化DX)

効率化推進による業界データプラットフォームを活用した新たな付加価値を創出

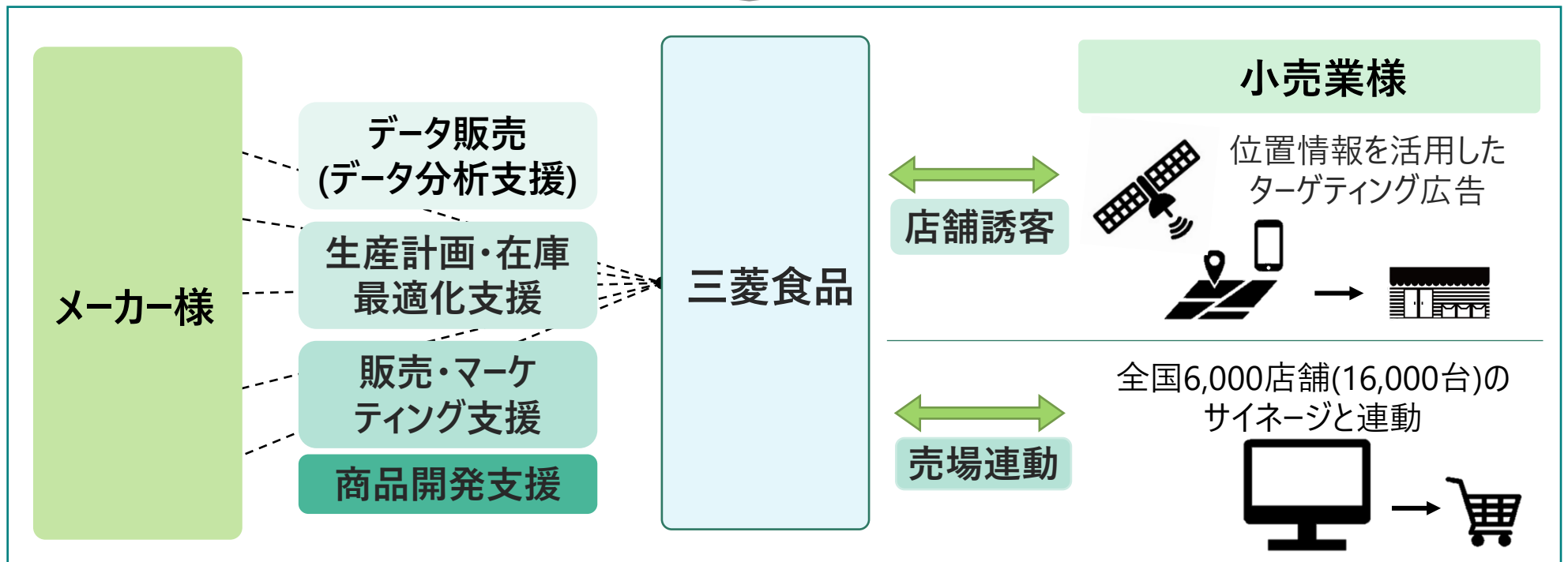
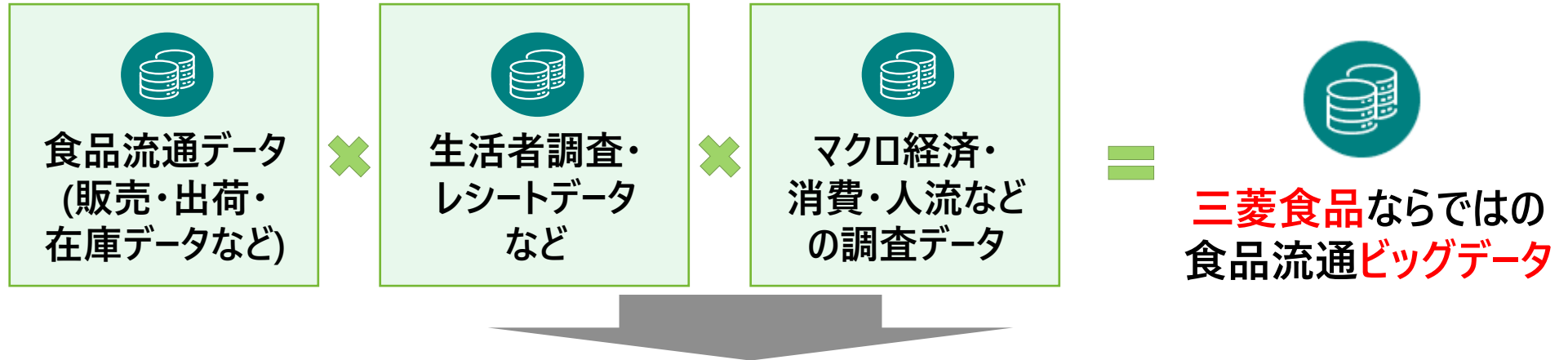


非競争領域を**共通データプラットフォーム**に集約、食品流通業界全体の**効率化・ロス削減**を目指す



リテールサポート・メーカーサポート機能の強化 (需要創造)

ビッグデータを活用した新たな付加価値を提案・創出



生活者ニーズに即したオリジナル商品開発

健康



食べるをかえる「からだシフト」シリーズ



“糖質コントロール” “PROTEIN PLUS”
シリーズ

環境配慮・食品ロス

環境に配慮した紙パッケージ
イタリアNO.1パスタBarilla



榮太樓總本舗
との共同開発



冷凍スイーツ市場の育成による

食品ロス削減

& “me time”



リサイクル率の高いアルミ缶
を使用したオーガニックワイン



簡便・時短



時短ニーズ・中食ニーズを捉えた冷凍食品
フライパンで10分で完成



世界トップブランドの輸入



独自性の高いプライベートブランド

吉田類氏監修
銘醸蔵の純米酒



クロスマーケティング



持続可能な社会の実現に向けた取り組み

- 2050年カーボンニュートラルの実現を掲げ、重点課題と2030年目標を引き上げ
- 食品取扱い企業におけるサステナビリティ取組トップ企業を目指す

重点課題

2030年目標

パートナーシップ&イノベーション	環境 	2050年カーボンニュートラルの実現に向け、CO2排出量（※）を2016年度対比60％削減します。
	地域・暮らし 	食品廃棄量を2016年度対比50％削減します。
	健康 	プラスチック資源循環を推進し、環境に配慮した製品を活用します。
	価値創造の基盤 	強靱で持続可能なサプライチェーンを構築します。
		地域課題の解決と地域貢献に資する商品・サービスの創出／拡充を行います。
		健康課題の解決と健康に資する商品・サービスの創出／拡充を行います。
		個性を尊重し、能力、適性を活かし健康的に活躍できる組織風土の醸成とエンゲージメントの向上を実現します。

環境配慮型電力契約への切替

- 2023年3月期、全国9エリアの当社名義全電力をCO2排出係数ゼロの環境配慮型電力契約に変更

環境配慮型車両の試験導入

- 2022年2月より2台の試験導入を開始



※Scope 1（事業者自らによる温室効果ガスの直接排出）及び
Scope 2（他社から供給された電気、熱・蒸気の使用に伴う間接排出）による排出量

踊り場からの脱却・新たな成長軌道へ

'13/3～'21/3：物流コストの高騰に加え基幹システム刷新や大型物流センターの先行投資が重なり収益性低下

'22/3～'24/3：4社統合の「第2 (成長)ステージ」へ

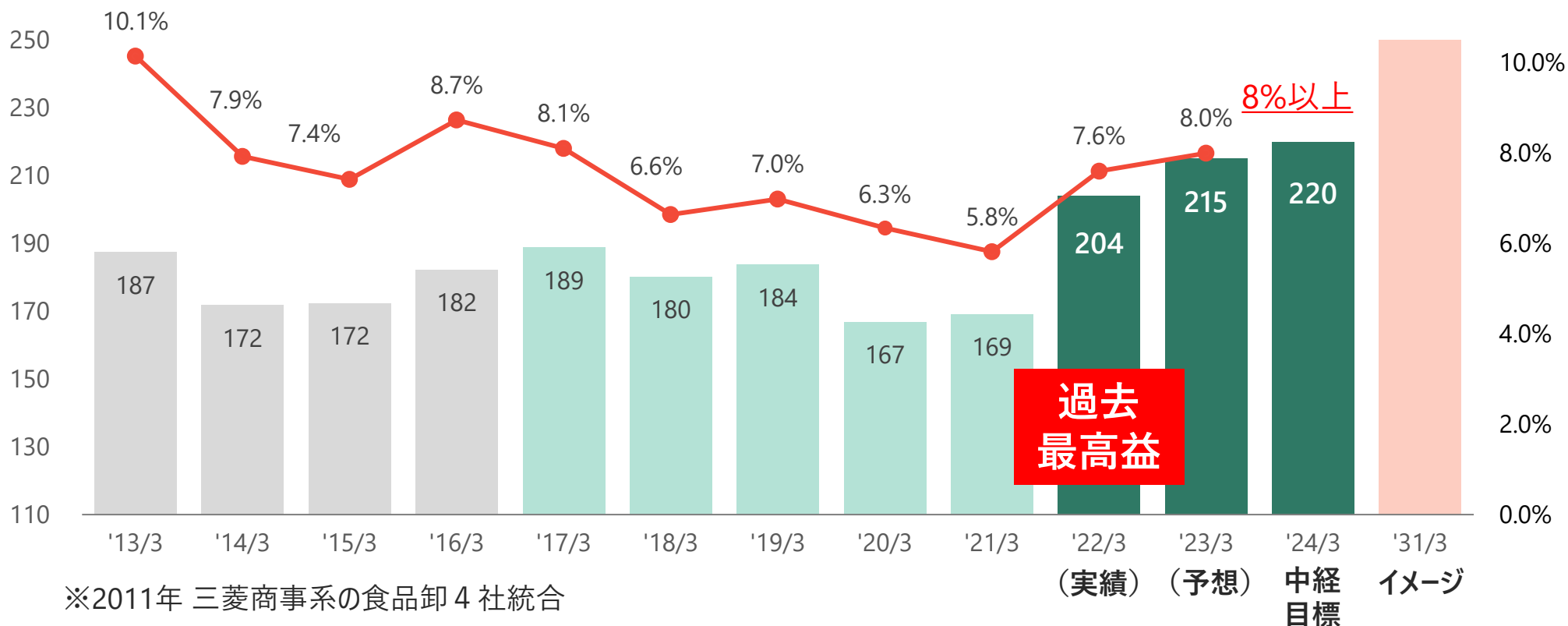
【中経2023】 → 2024年3月期：経常利益 **220億円**／ROE **8%以上**を目指す

■ 経常利益 (億円) ● ROE (%)

中経2015

経営方針2020

中経2023



< 予告 > ダイヤモンドフェア2022

さあ、
次の
一手。



ダイヤモンドフェア2022

食で創造する、持続可能な社会。

●開催日時

7月19日(火)、20日(水)、21(木)

10:00～17:00 (最終日は～16:00)

●会場

東京ビッグサイト (国際展示場)

西展示棟 西3・4ホール

※2021年と会場が変更となります。

三菱食品は

「食のビジネスを通じた持続可能な社会の実現」に向けて
あらゆるステークホルダーの皆様とのパートナーシップを通じて
企業価値の拡大を目指します

